

用語集

用語集

#	語句	解説
1	アンカーテナンシー (本文 P.4)	民間の産業活動において政府が一定の調達を補償することにより、産業基盤の安定等を図ること
2	筋ジストロフィー (本文 P.4)	遺伝性の神経筋疾患の総称。特徴として、神経と筋骨格系の機能障害のため、次第に筋力が低下し、筋肉が消耗してゆくことが挙げられる。この疾病に罹患すると、動いたり、食べたり、呼吸する能力が次第に低下していく。 (出典: JST 内 iPSTrend の Web ページ http://www.jst.go.jp/ips-trend/patient/disease/dystrophy/index.html)
3	ポートフォリオ(本文 P.6)	構成割合のこと
4	エピジェネティクス(本文 P.8)	DNA の塩基配列を変えることなく、遺伝子のはたらきを決める仕組み。なお、その情報の集まりのことをエピゲノムと呼ぶ。 (出典: 科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業 国際ヒトエピゲノムコンソーシアム 日本チームの Web ページ http://crest-ihc.jp/public/epigenome_qa.html)
5	ペイ・アズ・ユー・ゴー原則 (本文 P.12)	歳出増を伴う施策の導入・拡充を行う際は、既存事業に係る歳出削減または歳入確保措置により、それに見合う安定的な財源を確保すること
6	フェイルセーフ (巻末付録 3 P.7)	装置・システムにおいて、誤操作・誤動作による障害が発生した場合、常に安全側に作動するように設計すること。その設計手法
7	アポジエンジン (巻末付録 3 P.12)	楕円軌道の遠地点(アポジ)で噴射し、近地点の高度を上昇させるために使われるエンジンのこと
8	クリーンベンチ (巻末付録 3 P.19)	細胞や微生物を取り扱う際に、埃や雑菌の混入(コンタミネーション)を防ぐための囲み付き作業台のこと
9	位相差顕微鏡 (巻末付録 3 P.19)	光の回折、干渉という 2 つの性質を利用し、明暗のコントラストによって対象を観察する顕微鏡のこと
10	蛍光顕微鏡 (巻末付録 3 P.19)	蛍光・燐光現象を観察することによって対象を観察する顕微鏡のこと
11	センチネルアジア (巻末付録 3 P.32)	アジア太平洋域の自然災害の監視を目的とした国際協力プロジェクト。地球観測衛星など宇宙技術を使って得た災害関連情報をインターネット上で共有し、台風、洪水、地震、津波、火山噴火、山火事など自然災害被害を軽減、予防することを目的としている。 (出典: JAXA の Web ページ http://www.jaxa.jp/article/special/sentinel_asia/index_j.html)

#	語句	解説
12	国際災害チャータ (巻末付録 3 P.32)	大規模災害発生時に、地球観測衛星データの提供等を通じて、災害の把握、復興および事後処理等に貢献することを目的とした宇宙機関を中心とする国際協力の枠組み。正式名称は「自然または人為的災害時における宇宙設備の調和された利用を達成するための協力に関する憲章」
13	キャパシティビルディング (巻末付録 3 P.34)	途上国の能力構築(出典:外務省の Web ページ http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/wto/yogo.html)
14	エピゲノム比較 (巻末付録 4 P.4)	標準のエピゲノムと特定の疾患のエピゲノムを比較して、病気の原因や治療法を研究すること。